

# 「己を知る」ことは、教師修行の第1歩！

思いを語る、言葉にすることが自らを客観的に見つめる機会となる！

## 1．授業について編

毎日、板書計画を立てたか。デジカメ等で実際の板書を記録したか。

管理職や先輩の先生に授業をたびたび見てもらったか。

授業について、先輩の先生等によく質問したか。

他の先生の授業をたびたび、見に行ったか。特に、参考となる授業を継続して見に行くようにしたか。

授業の振り返り（実践記録）をつけているか。

## 2．学級経営（生徒指導）について編

子どもと遊ぶ時間を確保しているか。

1日1回以上は、声を出して笑いあう時間があったか。意識して、毎日、笑うようにしてきたか。

学級で気になる子はいるか。その子への具体的な対応を先輩の教員に相談しているか。

この子とは・・・この親とは・・・つながったと思えたか。それはなぜか。保護者からの訴えやクレームについて、きちんと整理し、分析や対応を考えたか。

# 夏を制するものは、年度後半を制す！

【夏季休業中に授業力をつけるために・・・例えば】  
情報を得る(本を読む、研修会へ出かける)

1学期の実践を振り返り、2学期の実践のポイントを絞る

人に会う、同業者(異業者)と仕事の話をする

2学期の見通しをたてる

子どもに暑中(残暑)見舞いはがきを出す

いろいろな先輩をつかまえて、気になっていることや悩みを片っ端から質問しておく。

2学期への決意をA4版1枚にまとめ、校内全教職員へ配布する。